

令和8年度 Mine みらいトーク<真長田地区>

日時:令和8年7月28日(火) 18:20~20:30 場所: 真長田定住センター 大ホール

個人	
テーマ	・『美祢デジタル・グリーン・ジオパーク構想』について ①強固な岩盤と低遅延ネットワークを活かした「超省エネ型 AI データセンター」の誘致 ②再エネ循環と DC 廃熱を活用し、遠隔制御を導入した「次世代スマートアグリ特区」 ③自動運転貨客混載による、美東 SA「ウェルカムゲート」の超低コスト物流化 ④「秋芳洞モビリティハブ」と EV 自動運転による広域連携 MaaS の構築

要望・質問内容等	当日の回答	補足説明等
美祢線の廃線跡地に太陽光発電設備を設置し、グリーン電力を供給します。 炭鉱跡地の豊富な地下水を利用し、強固な岩盤と交通の要衝、次世代インフラである低遅延ネットワークを活かした、環境配慮型(水冷式)の「超省エネ型 AI データセンター」を誘致、建設します。 大都市のバックアップセンターとして「オンリーワン」の地位を確立します。	かつて、十文字地域にデータセンターの誘致を計画しましたが、水資源等の状況により国の選考に乗らなかった経緯もあり、継続して検討する必要があると考えます。	
データセンターの排熱(温水)を利用した温室での通年野菜栽培を行います。 AI による農作業の自動化・遠隔操作(例:コンバインの遠隔運転、草刈りロボット)を行います。 スタートアップ企業の実証実験の場として市域を提供します。		
IOWN 技術を活用したレベル 4 自動運転の実証実験	かつて、自動運転の実証実験は美東町大田地域で行いまし	

を中山間地域で実施します。 自動運転バスによる「人貨混載」(旅客と農産物等の同時輸送)を実現します。 高速道路のサービスエリアを活用した物流ハブ拠点を整備し、短時間配送サービスを実現します。	たが、実稼働には至っていない経緯もあり、継続して研究する必要があると考えます。	
秋吉台を交通のハブ拠点とし、宇部空港から県内各地への周遊を促進します。 荷物を宿泊先に先行輸送する「手ぶら観光」を物流システムと連携して実現します。 宿泊施設は周辺市町と連携し、美祢市は通過・乗り換えの拠点機能に特化します。		

団体	真長田まちづくり振興会【13名】
テーマ	・旧淳美小学校の跡地利用について ・人口定住・通学支援について ・遊休地利活用について ・夢プランについて ・有害鳥獣への対策について

要望・質問内容等	当日の回答	補足説明等
旧淳美小学校の利活用について市側へ検討を委ねていますが、進捗状況をお尋ねします。 旧校舎について、イベント(マルシェ等)での短期利用を可能にして欲しいと考えます。また、その際の貸付料金をお尋ねします。	今年度中に民間活用のためのサウンディング調査を実施予定です。 校舎全体の評価額(約1,700万円)から試算すると、1日あたり4~5万円程度になる可能性があります。 短期利用の可否と料金について早急に検討し回答します。	

市外へ通学する美祢市在住の高校生に対し、通学費補助など経済的支援を要望します。 市外からの移住促進のため、小郡に近いエリアでの宅地整備を要望します。 国勢調査人口減少率(県内ワースト 2 位)の抜本策として、新生児 1 人あたり 1,000 万円の祝い金支給を提案します。	通学支援は県レベルで検討された経緯がありますが、公平性の観点から統一見解に至っておらず、検証を要します。 市による宅地開発はリスクがあり、民間活用や住宅取得支援の拡充で検討したいと考えます。 提案の趣旨は理解しますが、財政的に困難です。今後の参考とさせていただきます。なお、人口減少については、若い女性の定住促進と婚姻率向上が重要課題と認識しています。	
新聞に電源セット贈呈式の記事があり、旧赤郷小学校跡地の蓄電池事業が紹介されていますが、太陽光パネル開発等による景観破壊、外国資本による国土開発のリスクに繋がるのではないかと考えます。	事業者はカナダ資本の日本法人です。また、事業は蓄電池の設置であり、太陽光パネルではありません。 なお、贈呈された電源セットは、災害時の非常用電源等として活用するものです。	
真長田地域での夢プラン策定に当たり、専門家のアドバイスを要望します。	専門家派遣は可能であり、地域振興課が相談窓口となります。なお、プラン策定自体を目的とせず、課題把握から始めることが重要です。	
捕獲した獣の処理施設整備と、市による処理引き受け体制の構築を要望します。 クマを保護鳥獣から狩猟鳥獣へ変更するよう県へ強く働きかけて欲しいと考えます。	捕獲後の処理は全国的な課題として認識していますが、ジビエ処理施設の整備や販路確保は現状では困難な状況です。 クマの適正管理については、県への要望を強化します。 ハンターの高齢化・後継者不足は深刻で、行政による直接対応についても多くの課題があると認識しています。	